



発行(株)サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂下
TEL・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
Eメール info@sosake.jp
編集・酒谷義郎
yosirou@sosake.jp

一九四五年は原点

八月六日・広島・八日ソ連参戦「てない」と反発すると「そんなもんは吹くはずはないもう九日・長崎・十五日終(敗)戦 負けたんや」でした。寝ている祖父に告げると「天皇様に昭和二十年・皇紀二六〇五年・西暦一九四五年の8月15日立憲君主国日本帝国は敗戦した。世にその日を「終戦記念日」と呼ぶ1982年4月13日に8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とすることが閣議決定された。現在ではこの閣議決定に基づいて毎年8月15日に全国戦没者追悼式が行われ正午に黙祷がささげられている。(甲子園野球も中断)



勤労奉仕は祖母も学区婦人会で集まり風船爆弾用の紙にコンニャク汁を塗りに行った。風船にガスを入れ偏西風アメリカまで飛ばし

毎年、その日を思い出す。学童(小六)疎開中であつたが、お盆で七条の家に行った。病気で臥せていた祖父が「正午に重大放送があるので店にある「レジヨ」で聞いて知らせろ」と言う。

下の爆弾破裂で攻撃するという。彼の差は歴然、アメリカは既に広島長崎に原爆を落として何十万の非戦



聞いたが雑音のあり、言葉も難しく意味が判らなかつた。四軒東の新聞屋さんのおじさん

に聞きに行くと「日本が戦争に負けた」と言う。「神風はまだ吹いて、被爆し12歳で白血病で



架橋当時の七条大橋



亡くなった佐々木植子さんの願いが



爆投下を命じたトルーマン元米大統領の孫クリフトン・トルーマン・ダニエルさん(55)が来日し、

6日の広島市平和記念式と、9日長崎市の平和祈念式典に参列する。彼は、投下命令した大統領の祖父を代理して来たい。

第91回:朝粥食べておシャベリ会 報告

定例...7月15日(第3日曜日)お話し...「東日本大震災の活動を振り返って」

日本赤十字社京都府支部 事業推進課長 山田二三男様

京都医療救護一班(三班は、地震後、2時間後救急車2台で出発、積雪に悩まされながら、宮城県庁支部に、他府県に先駆けて到着。情報錯綜の指示により、石巻に移動、取りあえず人命第一と負傷者の搬送、医療手当てに従事し、準備してきた緊急必要物資配布もした。当初は行政組織が津波地震の影響で大変困難な地区もあった。救援は長期のケアも大事だと話された。



朝粥会満席続き、ご予約を

来年は七条大橋架橋100年！
七条界わい・鴨川昔話会 無料
日時:2012年8月6日(月)
午後2時～4時

(明治大正期の写真もお見せします)

場所

集西楽サカタニ (TEL075-561-7974)

京阪七条バス停前、ファミリーマート2階

お問合せ:090-4274-4346(中村)

nnnet@mbox.kyoto-inet.or.jp

いどんつきー

▽6日は広島・9日は長崎に原爆が落とされ15日敗戦、それぞれの記念日があり平和を誓う。そして16日はお盆の送り火・大文字焼きが京都の夜に映える。

▼昭和30年代までは、学校の屋上から大・妙法・舟形・肥大例左大・鳥居と五山総ての送る火が拝めたが、高層ビルが増え、校舎の屋上では一望出来ない。

▽右に比叡・左に愛宕の高峰、連なる山並みは北と東西にあり、鴨川の清流もある。平安の名に相応しく、比較的大災害少なく、千数百年都である(あった)。

▼景色景観だけでなく杜寺仏閣、殆ど戦火から逃れた町並みも残っている。パリとは町並み保存状態は格段の差はあるが姉妹都市。

▽広告だらけの市バスは品が悪く、市費でつくられた地下街店舗は地上の既存店舗と競合するかも。「公」にはそれなりの節度を要す。

▼お金のためだろうが、公園、道路、学校などでお金稼ぐと古都の品性を疑われ、悔いを残さないだろうか？千年の都も数年で壊せる。

ヨシイちゃんの ひとりごと



全国小売酒販組合中央会 民事再生法申請

時事通信が「東京商工リサーチが13日明らかにしたところによると、全国の酒店経営者の年金共済事業を手掛けていた全国小売酒販組合中央会（昭28年設立東京都）は同日、東京地裁に民事再生法の適用を申請。負債総額は、約25億円。約1万5千人の加入者への掛け金返還が困難となる。」こんなニュースが載った。

この中央会は私も参加している東山小売酒販組合の最上部組織で、共済年金をかけてなさる酒屋さんもあり無関心ではられない。中央会は東京都目黒区中目黒に立派な建物を持っていたが、負債額が15億と大きく上回ってどうにもならない結果らしい。写真；



総会時内部

今でも時々「米屋さんとお金持ちが多い」と言われる。それは京都の町で四つ角で見ると数軒酒屋米屋が見えた時代のこと、今は激減しています。

さかのぼると室町時代から「お酒」は税の対象となり、造る側も、そのための庇護を当にした関係があった。それが何と平成まで続いていたのです。総理大臣になった酒造家さん。名前は書かないが「貧乏人は麦を食え」、「三本指で女性を口説いたと言われる方」アツ！「消費税を採用した方」もそうでした。それ以外でも「大蔵省関税局（酒を管理する部門）出身の議員さんや大臣になった方は、両手両足の指数より遙かに多い。製造から販売の末端まで、保税（脱税防止）のため「免許」制度で【ピタシ・カン民】でした。

醸造家（日本酒、麦酒・洋酒）の組合も卸・小売の組合も【政治献金や選挙支援】をどれだけしたことか！。わが社も組員なので、政治献金分比率の金額を差引きし払いいたいと思ったことがあるが、個々では小額なので取返してなかった。全国の酒屋さん分の総金額は「並み」ではないと思う。

過って、警察予備隊が設けられた当時、酒税はその費用を総て賄えるほどと聞いた。経済発展で消費構造も変わり、財源も消費税の比重が増えた。大蔵省も政治家の態度が「とたんに激変」組合や酒屋さんの多くが「宝物」のようにしていた「免許制度」が自由化した。正に「金の切れ目は縁の切

れ目」の見本。それに業界全体の不勉強、努力不足も重なって【酒屋米屋】が激減した。掛けた情けに裏切られ、悪女に情けをかけた自分を笑うしかない。※悪女は想像下さい。

この文は【トンからりんNo74号】2005年9月号の「酒屋大変」の続編としてお読みくだされば、よ

お金の要らない 長い生き方②

【20才のときの写真を じつと見つめる】

先月からこの欄を書いています、実は文春新書「100歳までボケない10の方法」白澤卓二著・・を種本にしています。



そこで20歳の私の写真を探しましたがありません。それで18歳、左

の→写真になりました。ウソ！と言わないで下さい。当時は痩せてガリガリ40kg、随分悩んだり苦しい生活をしたころです。ヤットほのかな明かりが見えたのは四十才前、以後、食過ぎて今は61kgです。【ああ、あのときは若かったな、と懐かしがるためではありません。20歳のときの体を見てほしいので

り酒屋の姿をご理解いただけると思っています。ホームページ「集西案サカタニ」〜「とんからりん」へでも見られます。ヤフー。グーグルで「酒屋大変」で検索下さい。ご要望あればメール貼付送付可。

★酒販組合で発行している「麦酒ギフト券等」は、中央会とは別組で販売されており懸念無し。

す。大部分のかたは、おそらくいまよりやせていたのではないでしょう。か。体つきもしまっていたはず。です。体重で言えば10kgぐらいは少なかったのではないでしょう。か。一生を通じて体重の変化が少ないのは、健康長寿につながると述べてきましたがそのヒントが20歳のときの写真です。



日野原重明先生の20歳の写真を見せていただいたことがあります。当時の体重は60kgで、いま

と比較してしわはありませんし、もちろん若いのですが、顔つきや体つきはそれほど変わっていない感じがします。現在の体重を聞いてみると63kgとのこと。【中略】20歳代と体重が変わっていない人は、メタボリックシンドローム糖尿病にもなりません。

報告・第3回・・・ 馬町爆撃を語り継ぐ会

前の戦争で爆撃され、死者・負傷者、被災家屋も多くでた馬町。その事実が「風化」されてはならないと、本年1月16日（爆弾が落とされた日）その場所（旧修道学区）元東山小学校で一回目約80名・二回目5月16日約30名に開催。その第3回目が7月25日に同じ学校の図書室で24名開催されました。3回目は「かくされた空襲」という映画を見た後、「資料収集」や「モニメント」「会の運営」について意見交換し、方向性の意見交換をしました。10月ころに第4回を開催し、更に検討をすることになりました。ご協力有難うございました。

標準体重はBMIという数値で求められます。これは、体重(kg)を身長(メートル単位)の二乗で割った数です。【理数値は22ちなみに私は体重61kg身長1.72米で数値23.52 標準が22ですからやや肥満でした。さあ、皆さん、【20才のときの写真を見つめよう】

信じる者は救われるし、努力は必ず報われるものです。★先月の「舌出した体操」されてますか？。先ず隗(かい)より始めよう！私は毎日やってマッセ。

京都&東山 ぶらりピカリ

35

平重盛邸宅跡

正林寺



このお寺は、前号の三嶋神社と同じく京都から東国に向かう古道沿いにある。鎌倉時代、近くには六原探題が出来て、東国から運ばれた駿馬の市が出来たことから街道口付近を「馬町」ともいう。先の戦争で、寺の近くが爆撃され「馬町爆撃を語り継ぐ会」名の風化を防ぐ会が動いている。

平安時代この辺りは、小松谷と呼ばれ、平重盛の別邸があり、それで重盛は小松殿と呼ばれ、積翠園庭園（前武田庭園）も邸内だったそう。

当時、重盛は境内に持仏堂を建て、48体の仏に毎夕48の灯籠をともしていたと言う。平家滅亡後は、九条兼美の別邸となり、法然を招き、兼美が剃髪出家した旧跡でもある。その後法然上人が住み、小松谷御坊と称され、門前に



刻まれた阿彌陀經石

「小松谷御坊」の石碑が残っていたが、応仁の乱で、御坊は灰燼と歸し、江戸中期に義山・恵空により復興し、北野の真盛寺子にあって正林寺が移された。

享保20年（1735年）九条家より河原殿の建物が移築され、大願堂・方丈などになった。

法然上人がここに居住していたこともあるという。法然上人二十五

市電が走った街 京都を巡る⑬ 福田静二



二条駅前を発車した市電は、

千本通を北上します。左手には、つい先ごろまであったタイル貼りの古いビルなどが続き、右手には、京都市立中京中学校、そして、先号でも紹介した、望楼を持つ旅館が見えます。当時でも、特異な外観をした建物で、市電からも、よく見えたものです。邸宅として建てられ、望楼は展望台だったと言われています。

まもなく、到着するのが「出世稲荷前」の停留所です。電停の東側に、その起源となった出世稲荷神社の鳥居と小さな境内が見えます。

この神社の起源は、豊吉秀吉が、天正十五年（一五八七）、みづか

山陰本線、旧二条踏切を行く
C57重連の列車



旧二条踏切には歩道橋もあって、
いつも撮影者で賑わっていた



「旧」を冠する通り名は、京都では異質な感じがします。明治になり、西ノ京のあたりでも土地の整備が進められ、太子道の南方に新道が敷かれます。その道は、旧市街にある道路との位置関係から、二条通の延長線上に相当していたことから、新しい二条通と認知されるようになり、元の太子道は、「旧二条通」となったようです。

越せないものだろうか？と。らが築いた聚楽第に稲荷神社を勧請したことに始まります。翌年には時の御陽成天皇が聚楽第に行幸し、天皇は、豊臣秀吉の出世にあやかり、この神社に「出世」の称号を与えたとされています。開運出世を祈願する神社として栄え、聚楽第が取り壊された後の寛文三年（一六六三）、この場所に移されました。江戸時代中期には隆盛を極め、三百を超える鳥居が立ったと言います。

その後は、市街地の拡大に伴い、出世稲荷から西へ向かって道路が伸びています。旧二条通と呼ばれていますが、広隆寺に向かう道であったことから参詣道として太子道と呼ばれていました。

今回、この出世稲荷前付近の市電時代の写真を探したところ、停留所のプレート以外に撮影物件はないことが分かりました。前にも記したように、四条千本大宮線の廃止が急だったため、あまり撮影できないままに終わっていますが、とくに出世稲荷前付近は、取り立てて見るべきものがなく、撮影です。その代わりに、旧二条通を行く山陰本線の蒸気機関の写真を代用することにしました。ご了承ください。

社殿の規模は縮小されます。社殿は明治時代以降に建立されましたが、文化財指定はないため、修復は神社が全額負担してきました。氏子も少なく、境内の土地を売却して賄ってききましたが、全面的な修復の費用はなく、境内地を売却して左京区大原へ移転することになりました。

現在、市バス、京都バス、JRバスのバス停が集中する「出世稲荷前」では、テントが張られ、なかでは解体作業の真つ最中でした。

まもなく、秀吉ゆかりの神社は、この地から姿を消しますが、「出世稲荷前」は、改名されることもなく、移転後も継続されるようです。

ここからも俯瞰撮影をしたものでした。また、歩道橋もあって、その後は、市街地の拡大に伴い、出世稲荷から西へ向かって道路が伸びています。旧二条通と呼ばれていますが、広隆寺に向かう道であったことから参詣道として太子道と呼ばれていました。

今回、この出世稲荷前付近の市電時代の写真を探したところ、停留所のプレート以外に撮影物件はないことが分かりました。前にも記したように、四条千本大宮線の廃止が急だったため、あまり撮影できないままに終わっていますが、とくに出世稲荷前付近は、取り立てて見るべきものがなく、撮影です。その代わりに、旧二条通を行く山陰本線の蒸気機関の写真を代用することにしました。ご了承ください。

